

# ミュージアム学習会

三宅 隆

ふじのくに地球環境史ミュージアムでは、開館前の平成 27 年 5 月より、平成 28 年 3 月の一般オープンに向けて、ミュージアムの調査研究および収集保管活動において、相互理解や円滑な運営ができるように、関係する研究者間の意見交換や、交流を図る場を設けることを目的として、安田館長肝いりで、ミュージアム研究セミナーという勉強会が始まりました。

これは、ミュージアムと富士山世界遺産センター研究員を主体とし、それに NPO の理事や事務局の専門分野の研究者が加わり、自身の研究テーマや業績などを知ってもらおうという試みで、月 2 回開かれました。このときの参加者は、ミュージアム及び NPO 関係者の一部に限られましたが、研究員がどんな研究をしているのかがよく理解できました。

この時のセミナーでは、NPO 側は、柴 正博、秋山信彦、高橋真弓、杉野孝雄、横山謙二の 5 人がそれぞれの今までの研究分野について発表しました。

その後、28 年度は、開館に伴い、ミュージアムは忙しくなり、研究セミナーは中断されていましたが、今年度、ミュージアム学習会として再開されました。

この学習会は、一般公開はされませんが、今

までと違い研究員はもちろんですが、その他ミュージアムに関わる、サポーター、インタープリター、サービススタッフも聴講できるようになり、NPO 会員もその講座については、無料で入館（講座のみで、常設展見学などは通常の料金がかかります）できることになりました。

5 月より現在まで、毎月 奇数月は第 3 土曜日、偶数月は第 3 月曜日の 10 時から行っています。講師は、奇数月はミュージアム研究員が、偶数月は NPO 会員が講師となっています。それぞれ、専門的ではあるものの、わかりやすく説明されており、参加者も毎回 40 人程で盛況です。

NPO 担当の月曜日は、ミュージアムは閉館していますが、ご厚意により入館できるようになっていますので、ぜひ月曜日にも聴講に来てください。

なお、平成 30 年度からも、この学習会は継続の予定で、実施月、曜日は変わりませんが、講師にミュージアム、NPO 関係者だけでなく、サポーターや外部講師も招聘することになっています。今まで以上に、面白い話が聞けるかもしれせん。詳しくは、自然博ネットのホームページでその都度紹介しますので、ご覧になってください。

開催回	月 日	曜日	講師（所属・職位）	講演内容キーワード
1	5 月 20 日	土	日下 宗一郎（ミュージアム・准教授）	古人骨、食性
2	6 月 19 日	月	諏訪 哲夫（NPO 自然史博ネット）	蝶の消長
3	7 月 15 日	土	高山 浩司（ミュージアム・准教授）	海岸植物、DNA
4	8 月 21 日	月	延原 尊美（NPO 自然史博ネット）	大英博物館
5	9 月 16 日	土	菅原 大助（ミュージアム・准教授）	津波、モザリング
6	10 月 16 日	月	佐々木 彰央（NPO 自然史博ネット）	両生類、ヒル
7	11 月 18 日	土	山田 和芳（ミュージアム・教授）	気候変動、年縞
8	12 月 18 日	月	高田 歩（NPO 自然史博ネット）	ダニ
9	1 月 20 日	土	岸本 年郎（ミュージアム・准教授）	甲虫、伊豆諸島
10	2 月 19 日	月	三宅 隆（NPO 自然史博ネット）	外来哺乳類
11	3 月 17 日	土	渋川 浩一（ミュージアム・教授）	ハゼ、新種

今年度 ミュージアム学習会 講師一覧